



第 392 号
発行 2022年11月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

防災に「正解」も「終わり」も「満点」もない



公益財団法人市民防災研究所
主任研究員 伊藤英司



東京にある公益財団法人市民防災研究所の伊藤英司です。佐賀県から昨年度に引き続き今年度も『福祉施設のいのちを守る』災害対応力向上事業の業務を受託しました。この事業は、令和二年七月に熊本県で河川が氾濫して高齢者施設の入所者十四人が犠牲になる大変痛ましい被害を受け、二度と同じような被害を繰り返してはならないという県の担当者の熱い思いから新たに始まった事業です。

その事業の一環として行っている専門家個別支援で、今回、大雨が降ったとき土砂災害から富士学園の利用者のいのちを守るために避難について助言をさせていただきました。富士学園が立地する施設の一部が、急傾斜地の崩壊（かけ崩れ）による土砂災害の危険があるとして土砂災害警戒区域に指定されています。過去にはかけ崩れが起きたこともあったようですが、今では急傾斜地が崩壊しないように対策工事を行っており、危険性は低くなつたと考えられます。しかしながら、万が一に備えることは防災の“鉄則”です。

富士学園では法令で定められている「避難確保計画」など各種計画はすでに策定済で、近年の大雨では利用者の安全を確保するために施設内の体育館に避難させるなど、利用者のいのちを守る様々な取り組みがすでに行われています。

ただ、防災には「正解」はなく「終わり」もなく「満点」もありません。つまり、一度作成した避難に関する各種計画も常にそれに本當にいいのか、不斷の見直しをしていくこと大切です。

防災対策でもっと大事なことは、

災害からのいのちを守ること。いのちを守ることができなければ、備蓄している飲料水や非常食が役立つことはありません。災害からのいのちを守るための対策をまずはしつかり行うことです。そして、停電や断水など災害が起きたときの状況をイメージすると、やるべき防災対策もまだたくさんあることに気づくはずです。

災害が起きることを前提に、今できる備えを実行していくましよう。それが災害からのいのちを守るための近道です。

に持つて備えていくことが重要です。このような状況を踏まえ、今後予定している利用者も参加した大雨時の避難訓練を通して、今一度、避難に関して施設のみなさまと一緒に知恵を出し合い利用者のいのちを守るためによりよい避難計画の見直しに微力ながらお手伝いできればと考えています。

さて、防災に正解も、終わりも、満

点もない。では、防災対策はどこまでやれば十分なのでしょうか？。その答えも残念ながらありません。できることはすべて“やる”という姿勢こそが大事ではないかと思います。そして百点満点からの減点方式で考えるとモチベーションは下がる一方です。0点を基準に積み上げ加点方式で考え、防災対策を実行することで少しづつ防災力は確実にアップします。そんな気持ちで息長くやっていくといいのではないかでしょうか。

防災対策でもっと大事なことは、

発表されるなど、いつ災害が起きてても不思議ではない大雨に毎年見舞われています。これまでたまたま被害がなかつただけで、次の大雨のときは被害が起きるかもしれないという危機意識を常

絵本を使い分かりやすく説明して頂きました。



静かな祈りで創立を祝いました

十月十三日（木）きれいな秋空が広がったこの日、めぐみ園では創立記念礼拝が行われ、相原牧師による善きサマリア人のたとえから、めぐみ園の創設を振り返るお話があり、皆静かな気持ちでこの良き日をお祝いしました。

創立記念礼拝



迷う程メニューが豊富！



めぐみ園では、少人数での日帰り旅行が続いておりますが、九月には二名の方が武雄方面へ。普段なかなか食べることが少ない出来立てのハンバーガーと共に、宇宙科学館を楽しみました！

日帰り旅行 武雄へ



ぶどうの木コンサート

十月十一日（火）ぶどうの木よりお二人が来園され、息の合った掛け合いとテンポの良い演奏に会場は大喝采でした！毎回、楽しい時間をありがとうございます！



いい湯だな～！

十月四日（火）せせらぎ（男性棟）利用者の方々が、牛津保健福祉センター『アイル』まで足湯に行かれました！

アイルで足湯



アットホームなコンサート



大きなサツマイモがいっぱいでした！



十月十三日、めぐみ園の畑でサツマイモの収穫が始まりました。今年も雨が少なかつた為か、大きなサツマイモがいっぱいでした！

サツマイモ収穫

今年は、職員によるコスプレ衣装も披露され、大変盛り上がりました。参加された利用者の皆様は、露店での食事を楽しまれ、それぞれ好まれている物を美味しそうに召し上がっていました。たくさんの方の笑顔が見られました。



十月二十八日（金）今年も昨年と同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から富士学園とウイズ富士の開催時間を分け、利用者の皆様と職員だけで開催しました。

交歓の広場



満開のコスモス



農繁期のため毎日忙しく作業をしておられる利用者様ですが、作業の合間に縫つて『金立公園』にドライブに向かいました。到着すると満開のコスモスが出迎えてくれて、皆様日々に感想を言っておられました。これから、徐々に紅葉の季節になり次第に冬が訪れます。元気に通所され意欲的に活動に取り組んでおられます。

ウイズ富士

ピーススマイル

避難訓練

八月に、全ホールで火災を想定した避難訓練が実施されました。皆様落ち着いて行動されました。



【学びの秋】



【読書の秋】

【芸術の秋】

【食欲の秋】

小さい秋見つけた

利用者のステキな秋を見つけました。

ふれあい

ありがとう「みらい」！
(めぐみ園)

二〇〇二年に二十四時間テレビを通じて寄付された「みらい」がその役目を終えました。
みらいはめぐみ園に来た初めての福祉車両で、旧園舎時代から、大活躍してくれました！



20年前、納車後の記念写真です

聖
句

彼は答えた。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」とあります。イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

(ルカによる福音書
十章二十七節～二十八節)

パールライフ 長月ドライブ

(富士学園)

九月九日(金)未だ新型コロナウイルス感染症の終息の見通しがつかない状況ですが、少しでも利用者の方々の気分転換に繋がればと、積極的にドライブ等を取り入れています。

今回は神崎方面までドライブに出掛けきました。外の景色を眺めながら、笑顔の絶えない外出のひと時となりました。



感染症対策 (富士学園)

富士学園では、新型コロナウイルス感染症の対策及び、感染を最小限に防ぐため、感染症対策委員会でマニュアルを作成しています。実際に富士学園内にコロナウイルス感染者が出た場合の想定や、施設内のゾーニング等、事細かに取り組んで業務にあたることとなっています。今年の一月に発生した、施設内クラスターを二度と起こさないためにも、職員一同気を引きしめていただきたいと思います。



皆様ありがとうございました
(九・十月分)

- めぐみ園へ
- 久保トキ子様より
- 小林海風様より
- 寄付

- 富士学園へ
- ながせ皮膚科様より
- タオル・液体石鹼多量寄贈

佐賀バルーンフェスタ開催！

恒でもコーナー

十一月一日のオープニングパレードに始まり、久しぶりに佐賀バルーンフェスタが開催されました。佐賀市では見慣れた景色となつていて広い空に浮かぶ色とりどりのバルーン。実は全国的に珍しい光景で、今年度の日本気球連盟公認全国大会は、新潟県小千谷市(中止)・長野県佐久市・福島県喜多方・岩手県一関市・宮城県大崎市・栃木県栃木市となつており、九州では佐賀だけです。

この先も佐賀の大好きなイベントとして盛り上げていきたいたいものです！



©佐賀バルーンフェスタ組織委員会

早いものでもう十一月。今年も残りわずかとなりました。今年あつた様々な出来事を振り返り、良いことも良くなかつたことも来年への糧としたいものです！

あ
と
が
き